学び合い　認め合い　笑顔輝く　都田西っ子　　平成３０年９月２８日

学校だより　１０月号

【TEL 045-933-7652　FAX　045-937-0964　】
【 http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/tsudanishi/ 】

―実り多き秋に―

校長　大嶋　照美

「暑さ寒さも彼岸まで」と昔から言われているようにひんやりした空気が、心地よい季節になりました。

９月２３日の「秋分の日」を中日として、その前後の３日間ずつの一週間を仏教用語で「彼岸」と呼んでいます。「秋分の日」を境に昼と夜の時間が逆転し、夜の時間が長くなり、「秋の日は釣瓶落とし」が、始まってきます。夕方５時を過ぎると、薄暗くなってきます。子ども達の外遊びや習い事等での帰宅について、安全に配慮するように学校でも伝えていきます。ご家庭でも、もう一度帰宅時刻の約束の確認をお願いいたします。

秋の訪れとともに自然豊かな学区内で、これからたくさんの秋の草花を目にすることがあると思います。春の七草は有名ですが、秋の七草も山上憶良が選んだことで定着したそうです。

〇秋の野に　咲きたる花を　指折り　かき数うれば
　七種（ななくさ）の花
　萩の花　尾花（すすき）　葛花　撫子の花
　女郎花　また藤袴　朝顔の花（桔梗の古名）

今年の朝会のテーマは「本」に関することです。「読書の秋」にもなりますので、子ども達には、少しでも図書館に足を運び、本にふれる機会を増やしてほしいと思います。

９月の朝会では、イソップ物語の「アリとキリギリス」のお話にふれました。日本では当たり前に知っているお話ですが、原典はキリギリスではなく、地中海地域を起源として、「アリとセミ」でした。ご存知の方もいらっしゃると思います。

日本では夏を感じるセミの鳴き声ですが、イギリス出身のロバート先生は、今年の夏初めてセミの鳴き声を聞かれたそうです。イギリスでは、聞いたことがなかったそうです。

高学年朝会で、夏に感じた五感「聴覚」のところでセミの鳴き声について、英語でお話してくださいました。「アリとキリギリス」も国により違う昆虫で訳されています。日本にはセミもキリギリスも両方入って来ましたが、キリギリスで伝わってきたようです。

朝会で紹介した本は、図書館でも見えるところに司書の先生が展示してくれています。

お昼の放送で、司書の先生がお薦めの本を紹介しています。９月の放送では、低学年に「ぼくは　めいたんてい」シリーズの「きえた　犬のえ」を、高学年は、富安　陽子作「チビ竜と魔法の実」を紹介しました。「どんな内容だろう。」と、図書館に足を運び、本を手にする児童が増えました。

保護者の皆様の読み聞かせも、子ども達に大変良い刺激になっています。ありがとうございます。

９月１８日のお昼の放送で、１年生代表の前期にできるようになったことや、頑張ったことの発表がありました。一足早く、振り返りをしました。

〇友だちの励ましでできるようになった。
〇給食が食べられるようになった。
〇みんなのために掃除を一生懸命した。
〇苦手な算数ができるように頑張った。
など、しっかり振り返りができていました。

１０月５日（金）で前期が終了し、９日（火）から後期が始まります。前期の振り返りをし、成果と課題をもう一度確認して、新たな目標を立て、後期も元気に学校生活を送ってほしいと思います。

「早寝　早起き　朝ご飯」を心掛け、健康に過ごせるようにご配慮ください。

「おやじの会」の皆様が作ってくださったテニスボールの椅子・机カバーのおかげで１年生の教室は、椅子や机を動かしても音がなくなり、大変静かな中で落ち着いて学習がすすめられていいます。ありがとうございました。